

放課後や長期休業中に行われる課外はたくさん種類があるので、苦手な科目やレベルなどを考慮して選ぶことができます。授業においては、中高6年間ずっと同じ先生が同じ教科を教えることよりも、毎年変わることの方が多いため、たくさんの先生と関わることになります。なので、各教科においての自分に合う先生を見つけやすいのかなと個人的には思います。また、中学3年生からは英語が、高校2年生からは数学が習熟度別に分かれるため、定期テストでは同じクラスの人と点数を競い合ったり、切磋琢磨して勉強ができると思います。部活動は中高6年間、硬式テニス部に所属していました。私の世代は、今まで硬式テニスをしたことがないという人の方が圧倒的に多かったです。6年間でいちばん楽しかったのは研修旅行です。自分で行きたい場所を候補の中から選択することができます。私はカナダを選択したので、毎日英語でホームステイ先とコミュニケーションをしたりしなければならなかったのですが、とても貴重な経験となったと今では考えます。

一貫生は6年間ずっと同じ学校なので、他の中学や高校よりもとても仲が良いと思います。イベントでは1番になろうとみんなで団結したり、受験期にはお互いの進路を応援し合ったりしていました。こんなに仲が良いのはやはり6年間色んなことを超えてきたからではないのかなと個人的には思います。

今のところ私は将来、食品会社で食品開発の研究に携わりたいと考えています。そのために大学では食材が食品となって私たちの食卓に来るまでの過程や動植物の命の尊さについて学びたいと考えています。自分の想像する進路を歩めるように、大学に入学したあとも勉強を頑張ろうと思っています。